

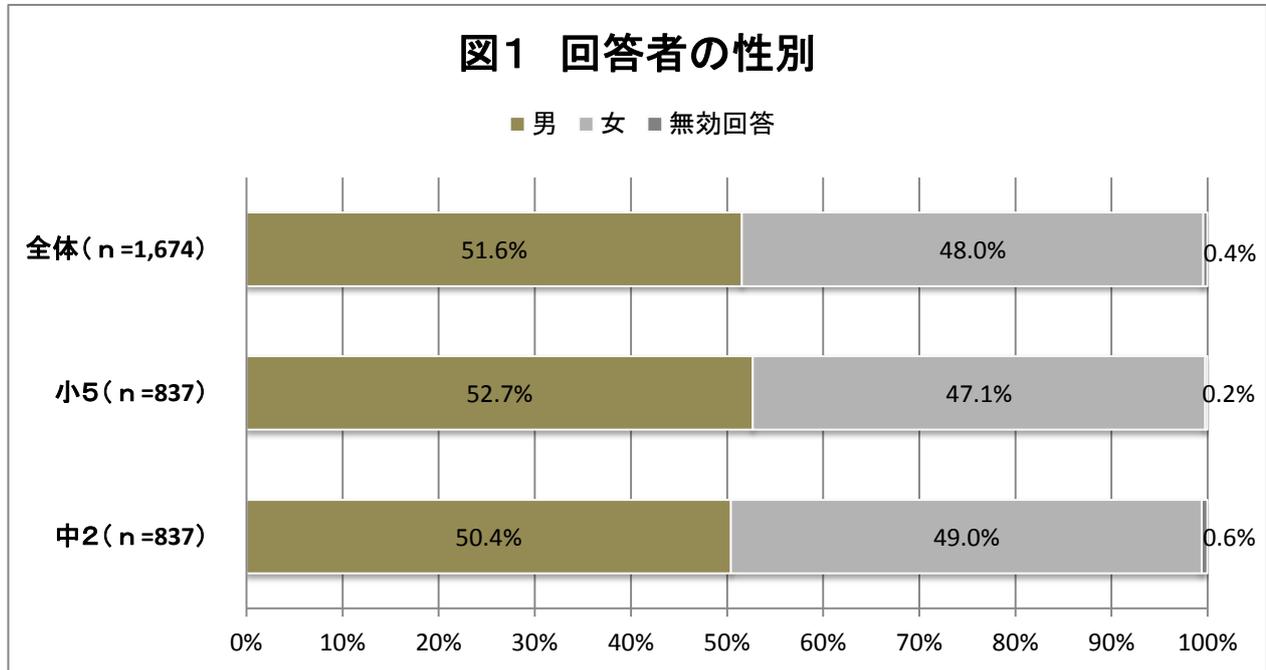
## 調査票 2（児童生徒対象）集計結果

本調査結果は、小学校5年生837名、中学校2年生837名、計1,674名の回答を集計したものである。

## 1 回答者の性別

問1 あなたの性別を教えてください。（一つだけに○）

問1から問6は、回答者の児童生徒の状況を把握するために設定した。



## 2 同居の家族

問2 あなたがいっしょに住んでいる家族について教えてください。（該当全てに○）

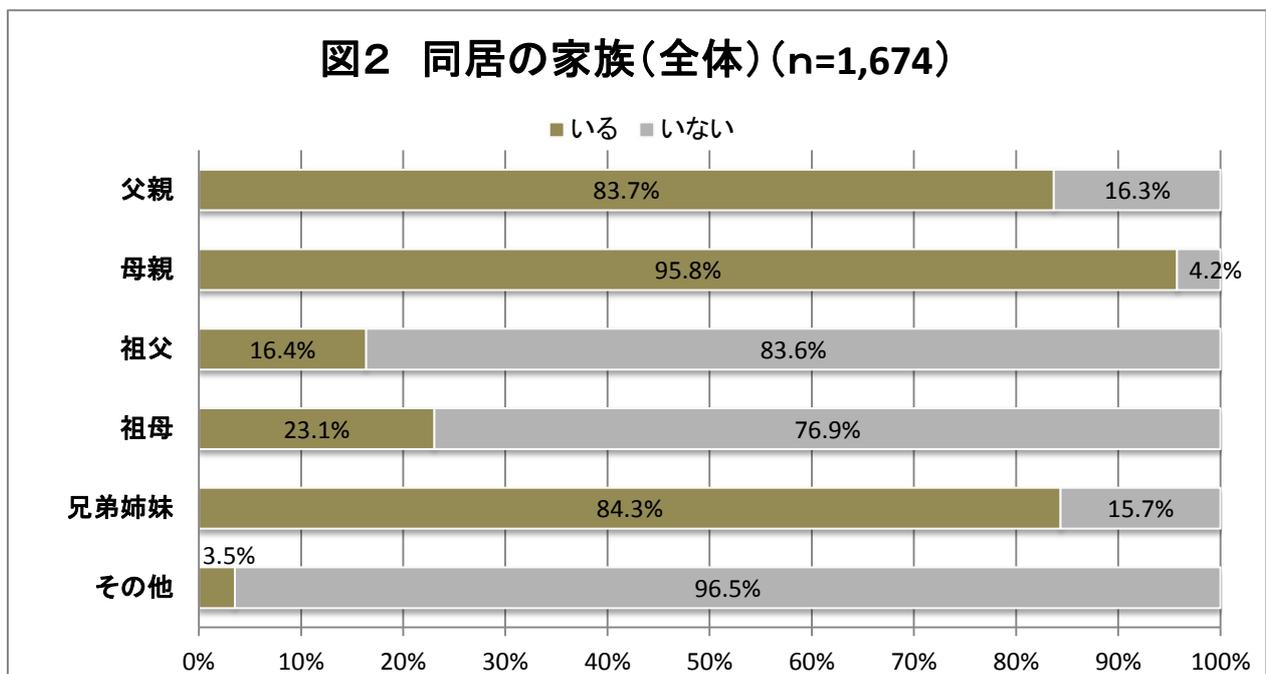


図2-1 同居の家族(小5)(n=837)

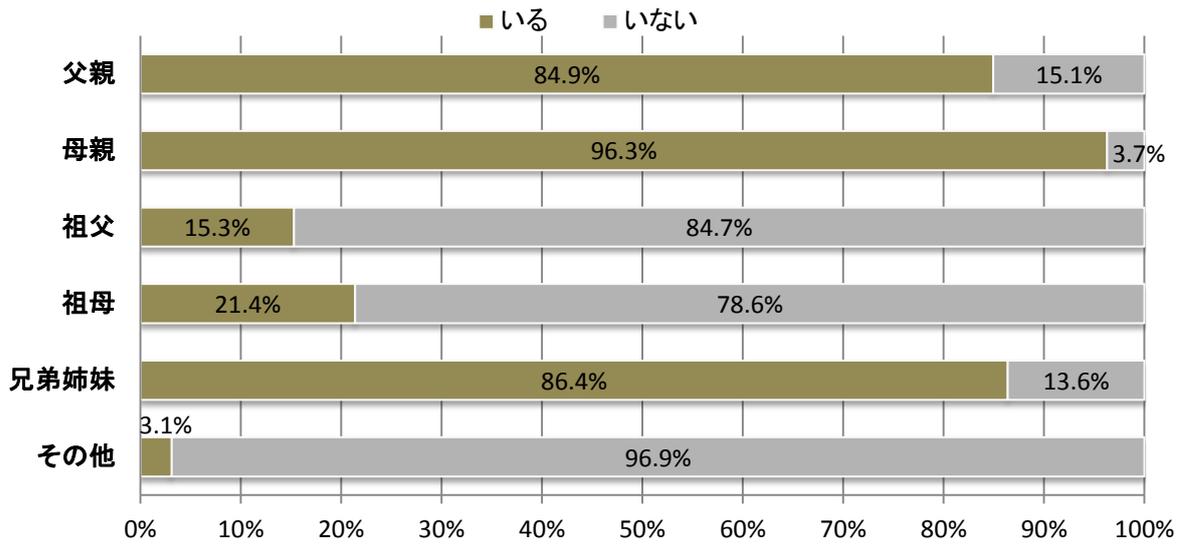
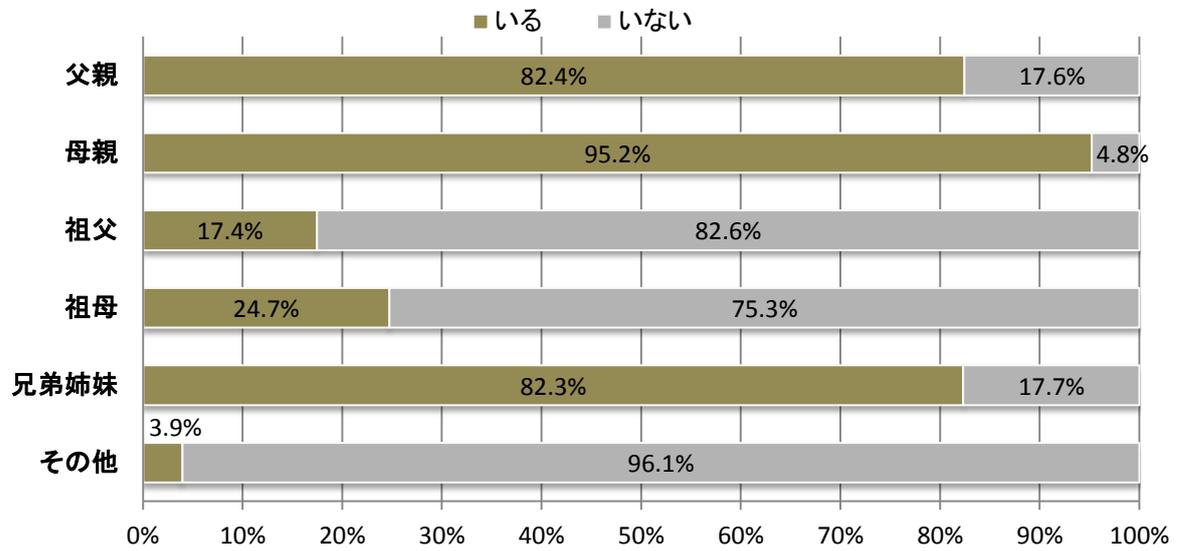


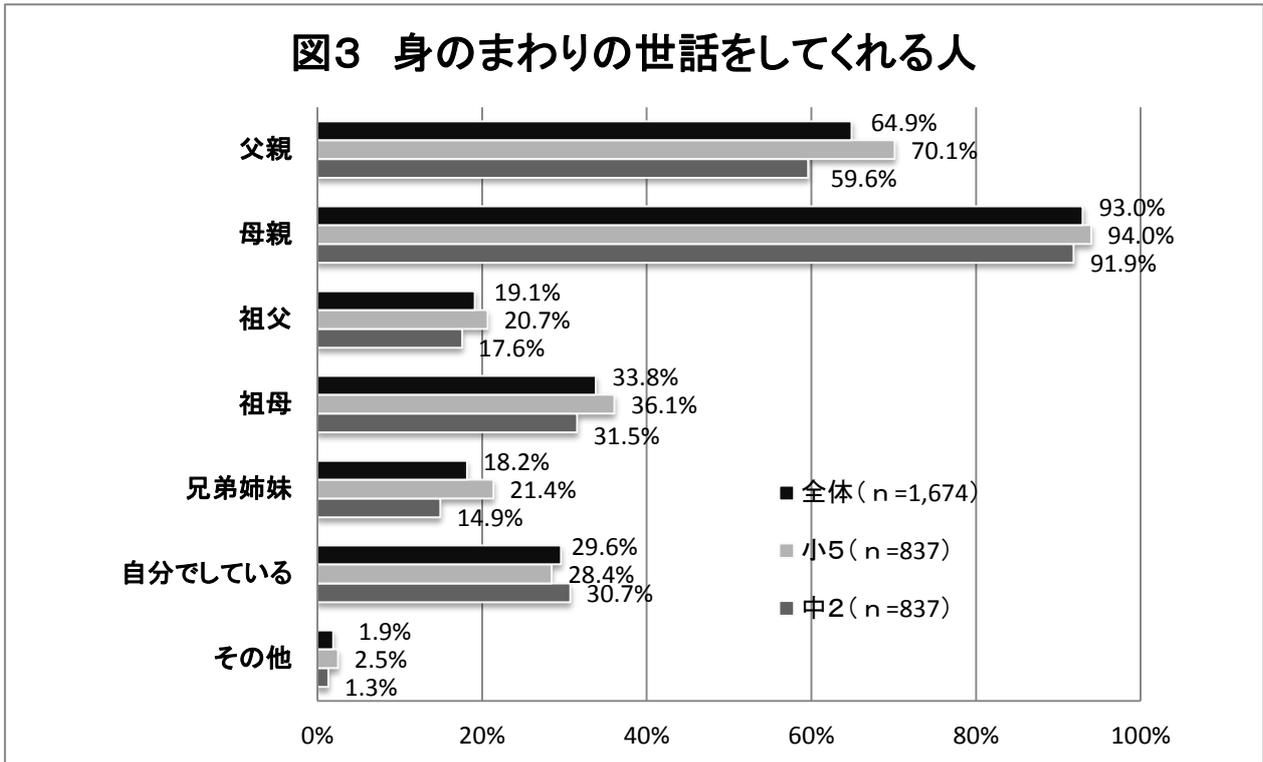
図2-2 同居の家族(中2)(n=837)



### 3 身のまわりの世話をしてくれる人

問3 あなたの身のまわりの世話をしてくれるのは誰ですか。（該当全てに○）

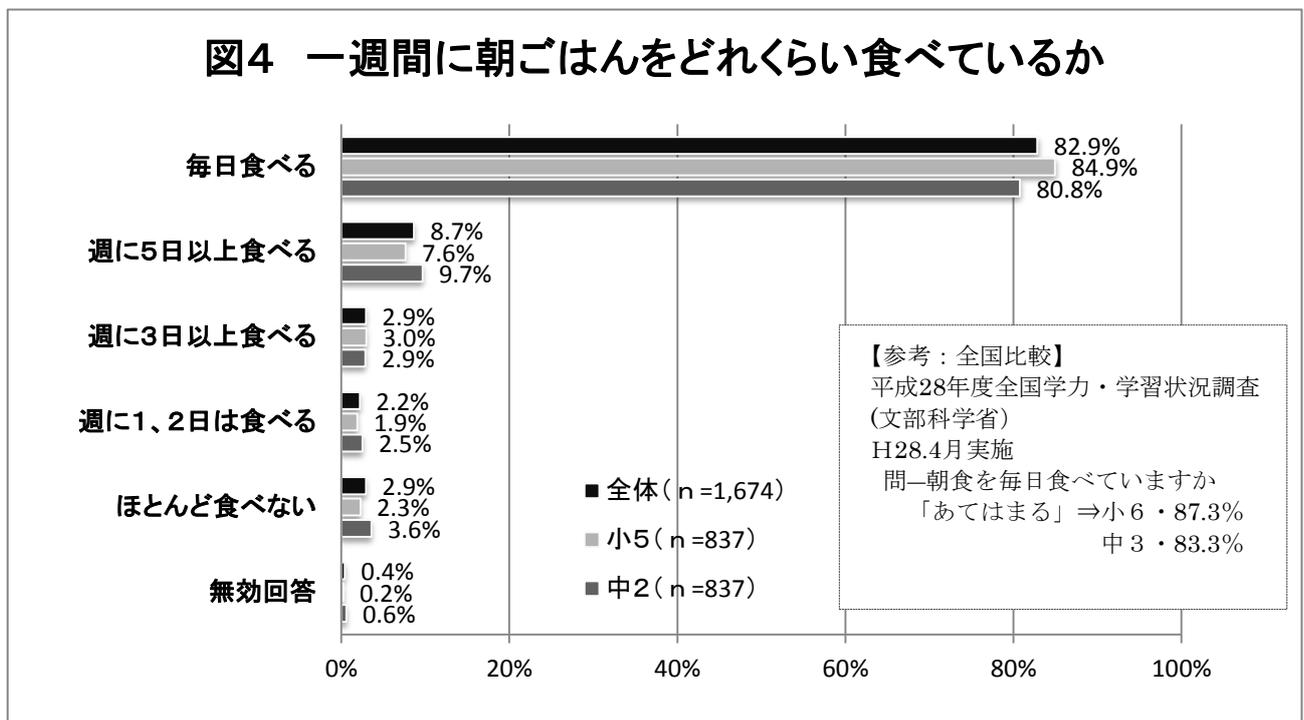
身の回りの世話をしてくれる人では、全体で、「母親」（93.0%）が最も多く、次いで「父親」（64.9%）、「祖母」（33.8%）となっている。また、「自分でしている」割合は、約3割となっている。



### 4 朝食の頻度

問4 あなたは一週間に朝ごはんをどれくらい食べていますか。（一つだけに○）

朝食の頻度では、全体で、「毎日食べる」（82.9%）が最も多く、次いで「週に5日以上食べる」（8.7%）となっている。

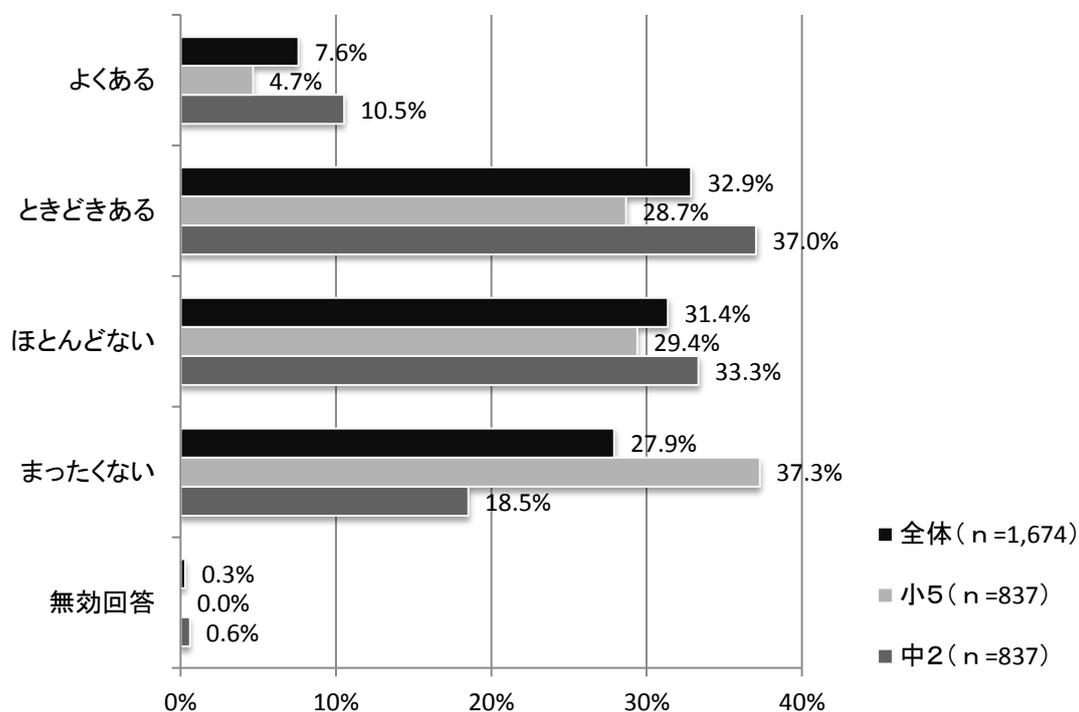


## 5 家で一人で食事をする頻度（孤食の頻度）

問5 あなたは、家で一人で食事をすることがありますか。（一つだけに○）

家で一人で食事をする頻度では、全体で、「よくある」（7.6%）と「ときどきある」（32.9%）を合わせると約4割となっている。また、小5より中2の方が「よくある」「ときどきある」ともに上回っており、学年が上がると一人で食事をする頻度が増える傾向が推測される。

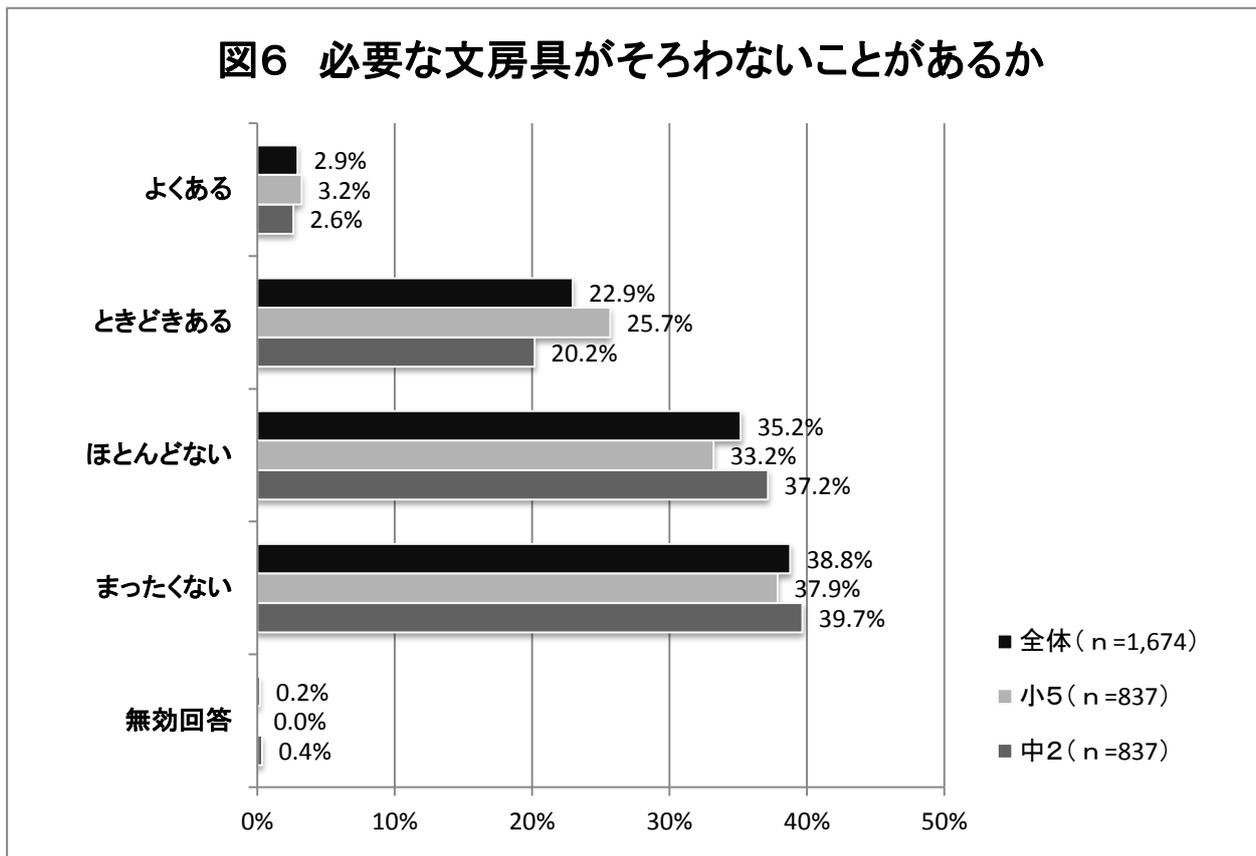
### 図5 家で一人で食事をすることがあるか



## 6 文房具の充足状況

問6 あなたは、必要な文房具がそろわないことがありますか。（一つだけに○）

文房具の充足状況では、全体で、「よくある」が約3%、「ときどきある」が約23%となっている。



## 7 自己肯定感の状況

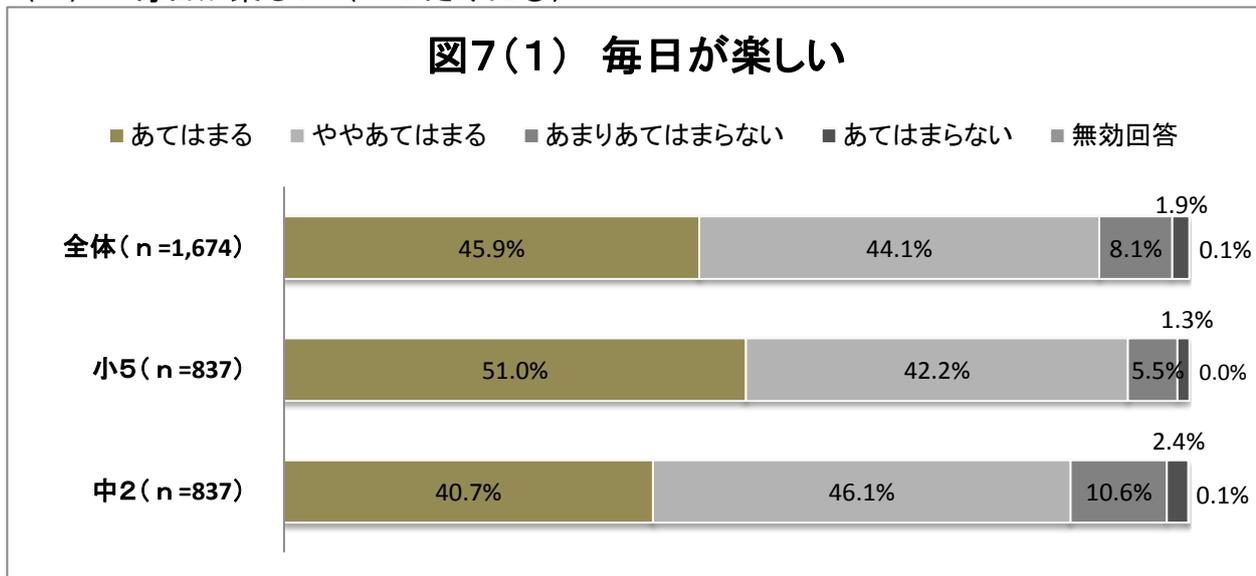
問7 あなたは、次のようなことがどのくらいあてはまりますか。（一つだけに○）

問7は、調査時点における回答者の自己肯定感について、他の調査項目との関連を把握するために、5つの質問を設定した。各質問の主眼は、それぞれ次のとおりである。

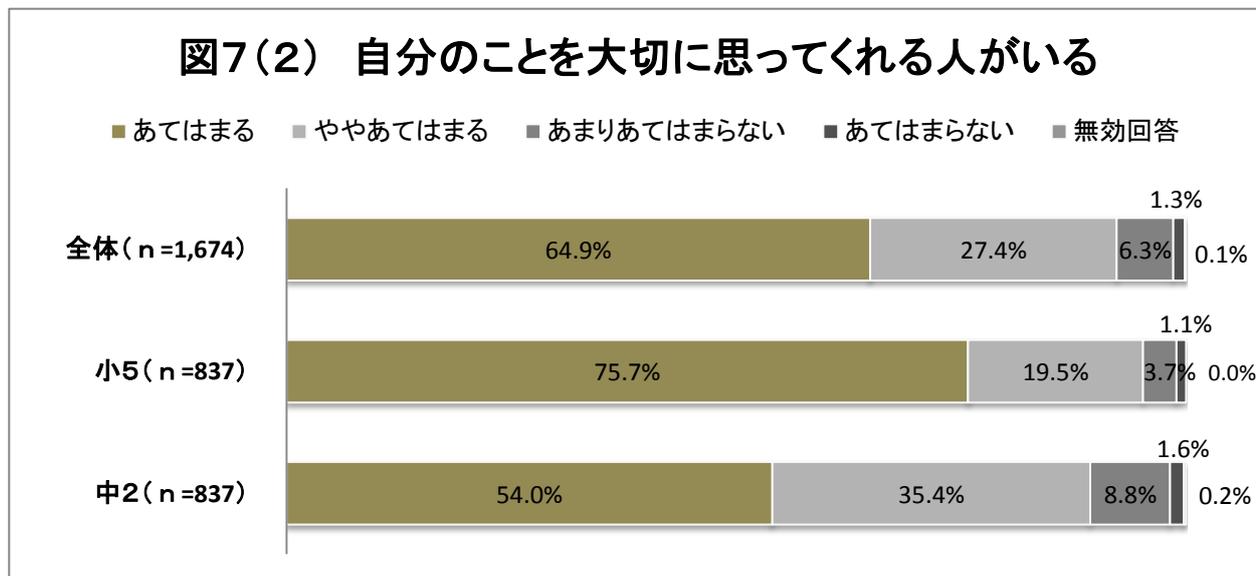
質 問	主 眼
(1) 毎日が楽しい	充実感
(2) 自分のことを大切に思ってくれる人がいる	自己有用感
(3) 自分の将来に明るい希望をもっている	将来への希望
(4) 地域の人たちとの活動が好きである	地域への愛着
(5) まわりの人の役に立ちたい	社会貢献

結果としては、全体を通じて肯定的な回答の割合が多いものの、「あてはまらない」との回答も少ないながら認められる。また、学年が上がると自己肯定感が低下する傾向が推測される。

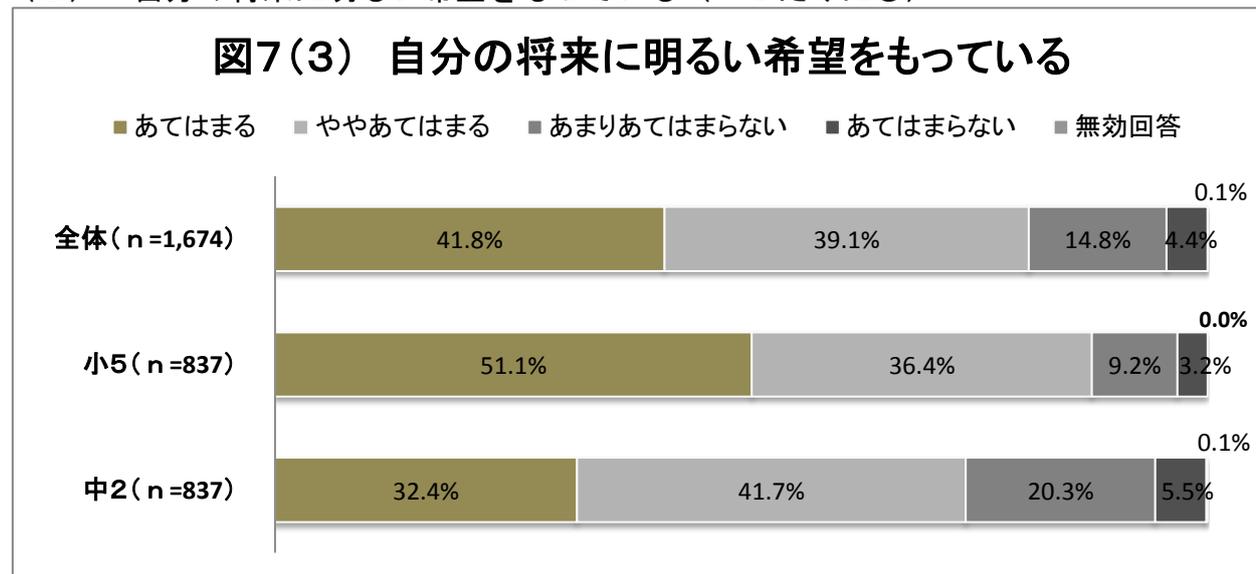
(1) 毎日が楽しい (一つだけに○)



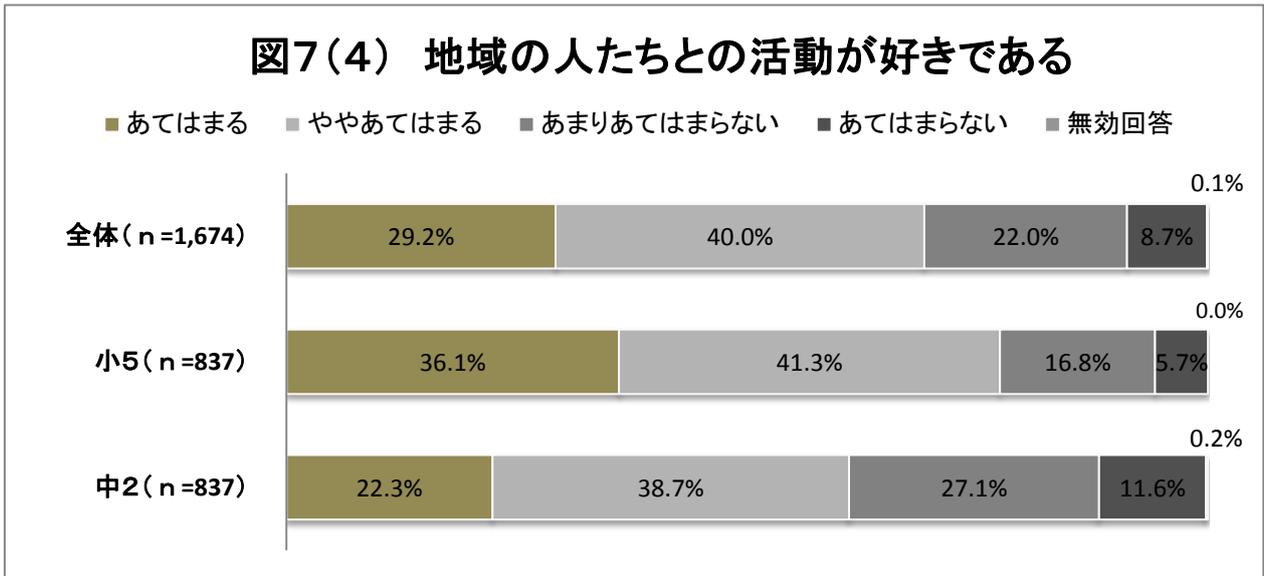
(2) 自分のことを大切に思ってくれる人がいる (一つだけに○)



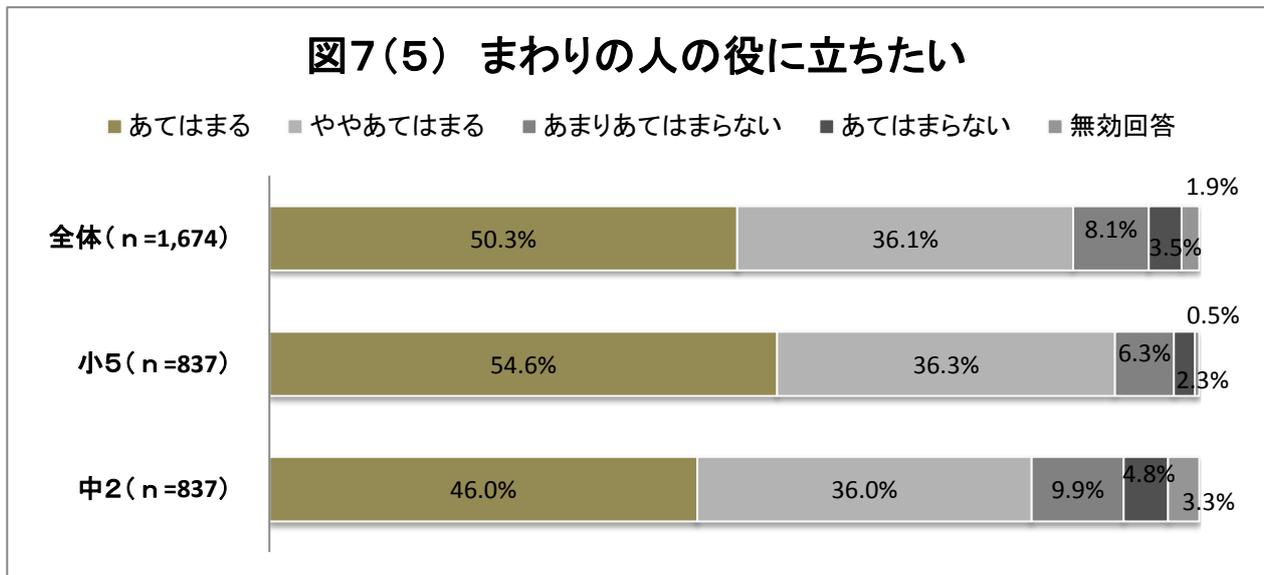
(3) 自分の将来に明るい希望をもっている (一つだけに○)



(4) 地域の人たちとの活動が好きである (一つだけに○)



(5) まわりの人の役に立ちたい (一つだけに○)



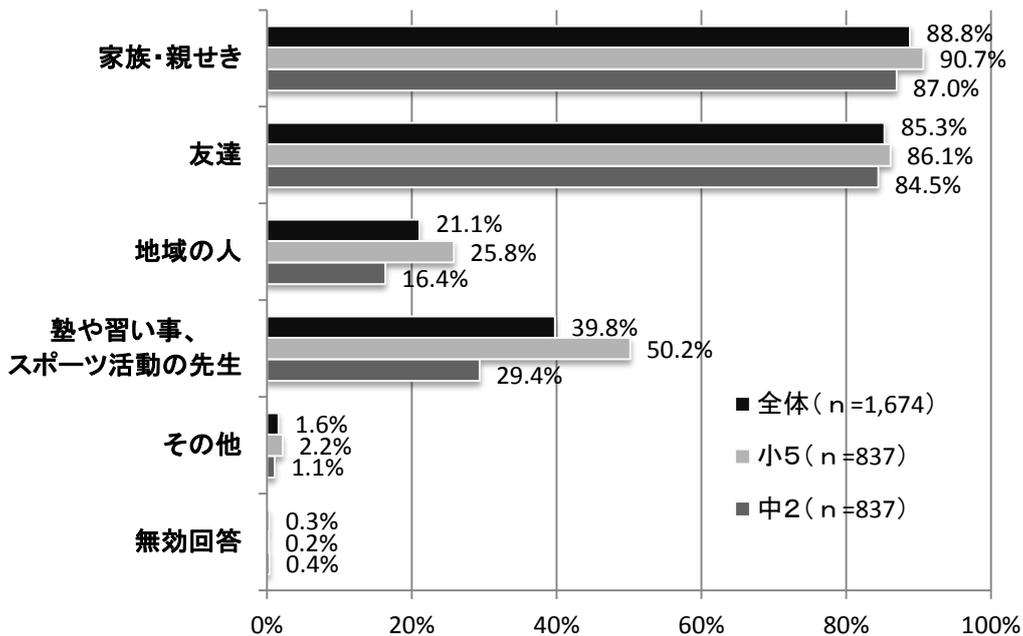
8 放課後や休日にかかわりのある人

問8 放課後や休日に、あなたが話したりいっしょに何かをしたりするのはどのような人ですか。※声をかけたりかけられたりすることも含めます。（中学2年生への問では学校から帰宅した放課後、部活動のない休日に限定）  
（該当全てに○）

問8から問12は、社会関係資本（人間関係）の視点から子どもを取り巻く状況を把握するために設定した。放課後や休日にかかわりのある人では、全体で、家族・親せき（88.8%）が最も多く、次いで友達（85.3%）、塾や習い事、スポーツ活動の先生（39.8%）となっている。

地域の人は、約2割で5人に1人の回答となっている。

図8 放課後や休日にかかわりのある人



9 通塾の状況

問9 あなたは、塾や習い事に通っていますか。（家庭教師を含みます。）  
（通いの有無と一週間の回数を回答）

塾や習い事の状況では、全体で、約7割が塾や習い事に通っている。小5は約8割、中2は約6割となっている。

一週間の回数では、全体で、2回（32.4%）が最も多く、次いで3回（19.4%）、1回（19.2%）となっている。

図9 通塾の状況(通いの有無)

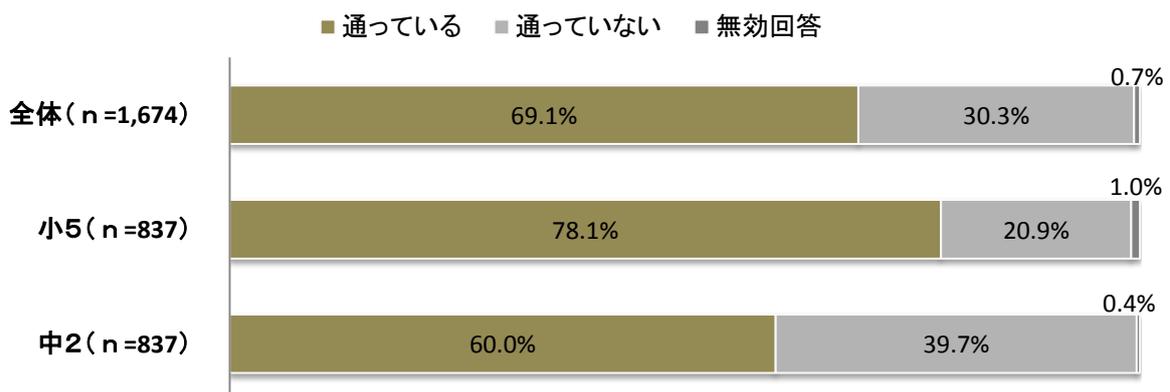
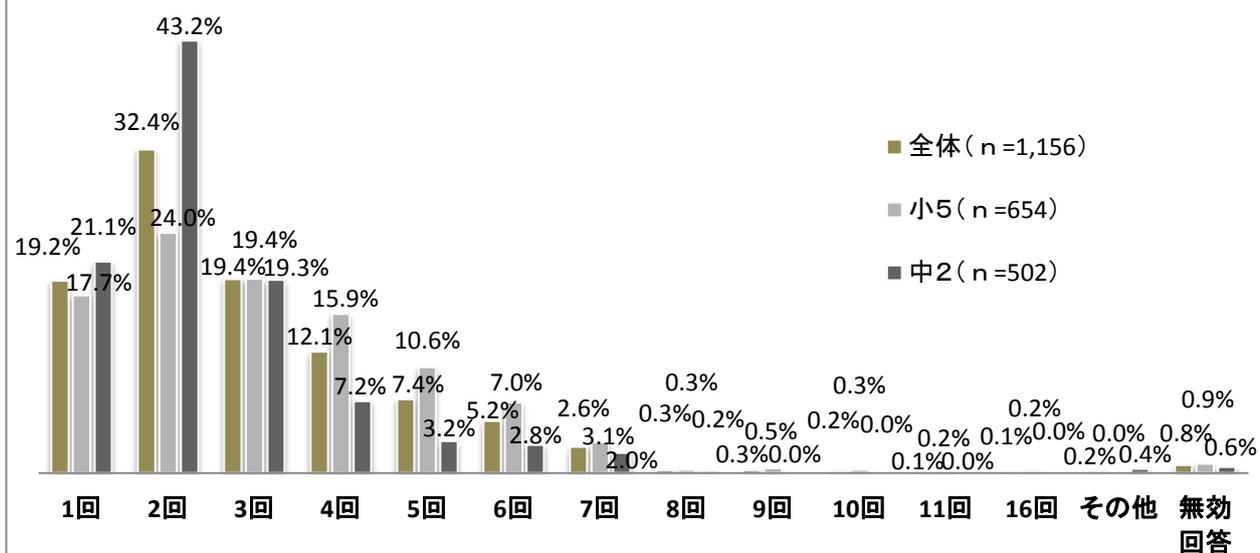


図9-1 通塾の状況(一週間の回数)

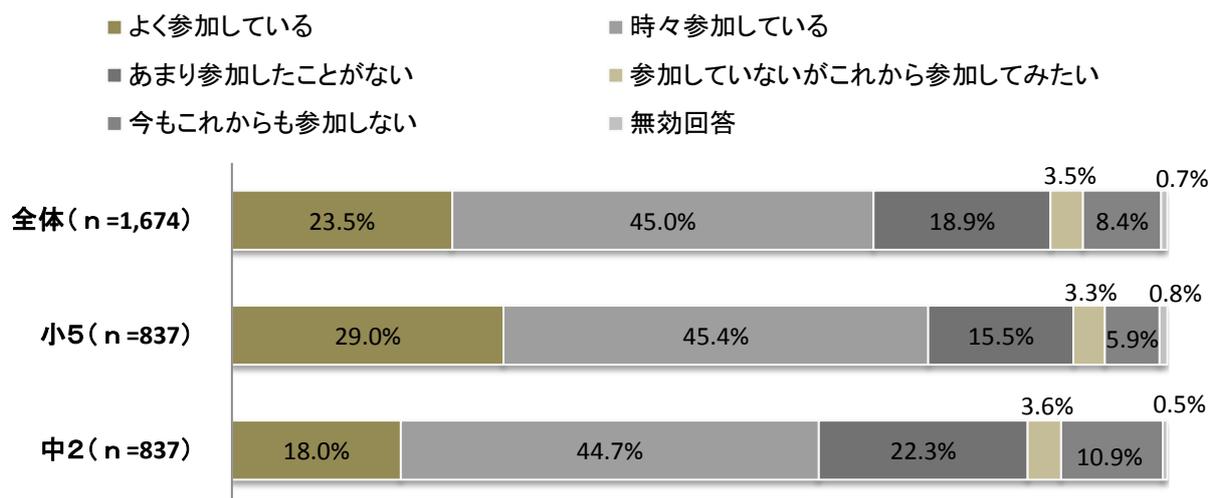


10 地域の活動への参加状況

問10 あなたは、地域の活動に参加していますか。(一つだけに○)

地域の活動への参加状況では、全体で、「よく参加している」(23.5%)と「時々参加している」(45.0%)を合わせると約7割となっている。また、学年が上がると参加しない割合が高くなる傾向が推測される。

問10 地域の活動に参加していますか



【参考：全国比較】

平成28年度全国学力・学習状況調査(文部科学省、H28. 4月実施)

問一今住んでいる地域の行事に参加していますか。

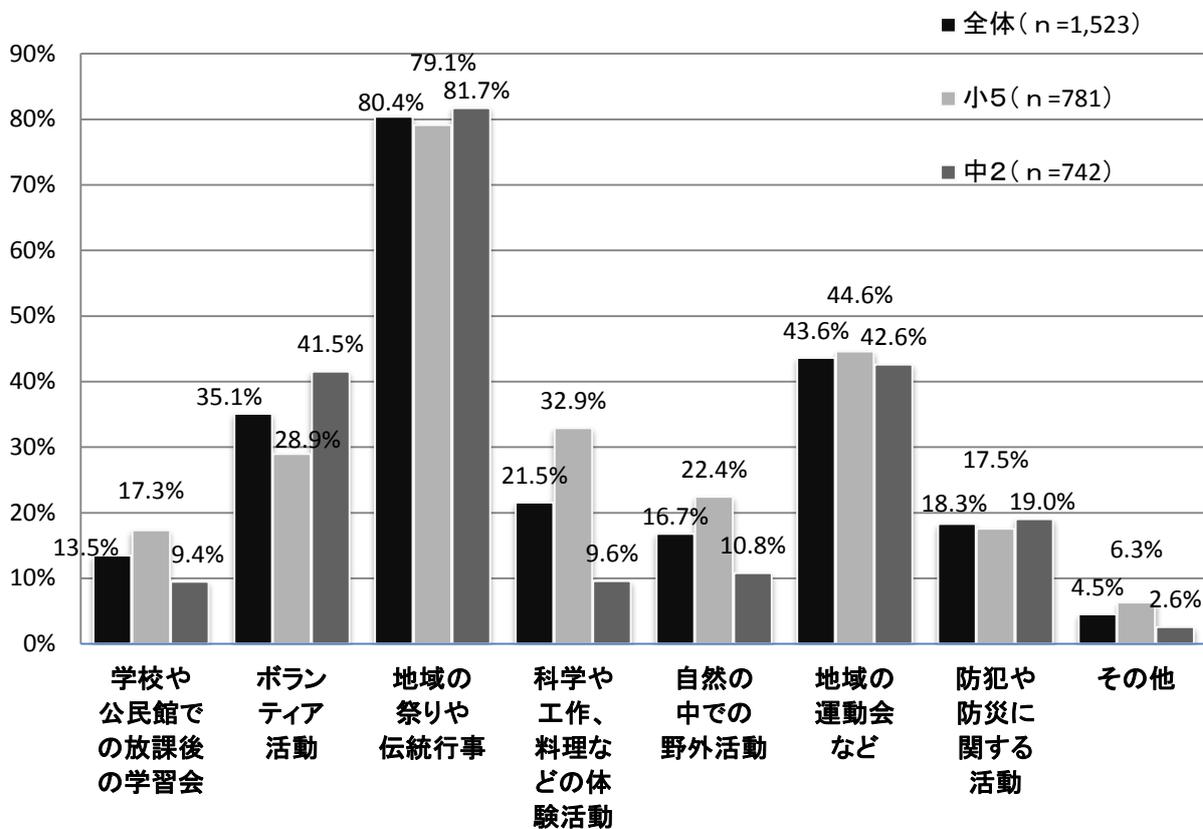
	小6	中3
当てはまる	38.9%	18.7%
どちらかといえば当てはまる	28.7%	25.8%
どちらかといえば当てはまらない	18.0%	26.7%
当てはまらない	14.2%	28.7%

11 「参加した」あるいは「参加したい」地域の活動内容

問11 問10で「よく参加している」「時々参加している」「あまり参加したことがない」「参加していないがこれから参加してみたい」のいずれかに答えた人に聞きます。あなたは、地域のどのような活動に参加したことがありますか。またどのような活動に参加したいですか。（該当全てに○）

「参加した」あるいは「参加したい」地域の活動内容では、全体で、「地域の祭りや伝統行事」（80.4%）が最も多く、次いで「地域の運動会など」（43.6%）、「ボランティア活動」（35.1%）となっている。

図11 「参加した」あるいは「参加したい」地域の活動内容

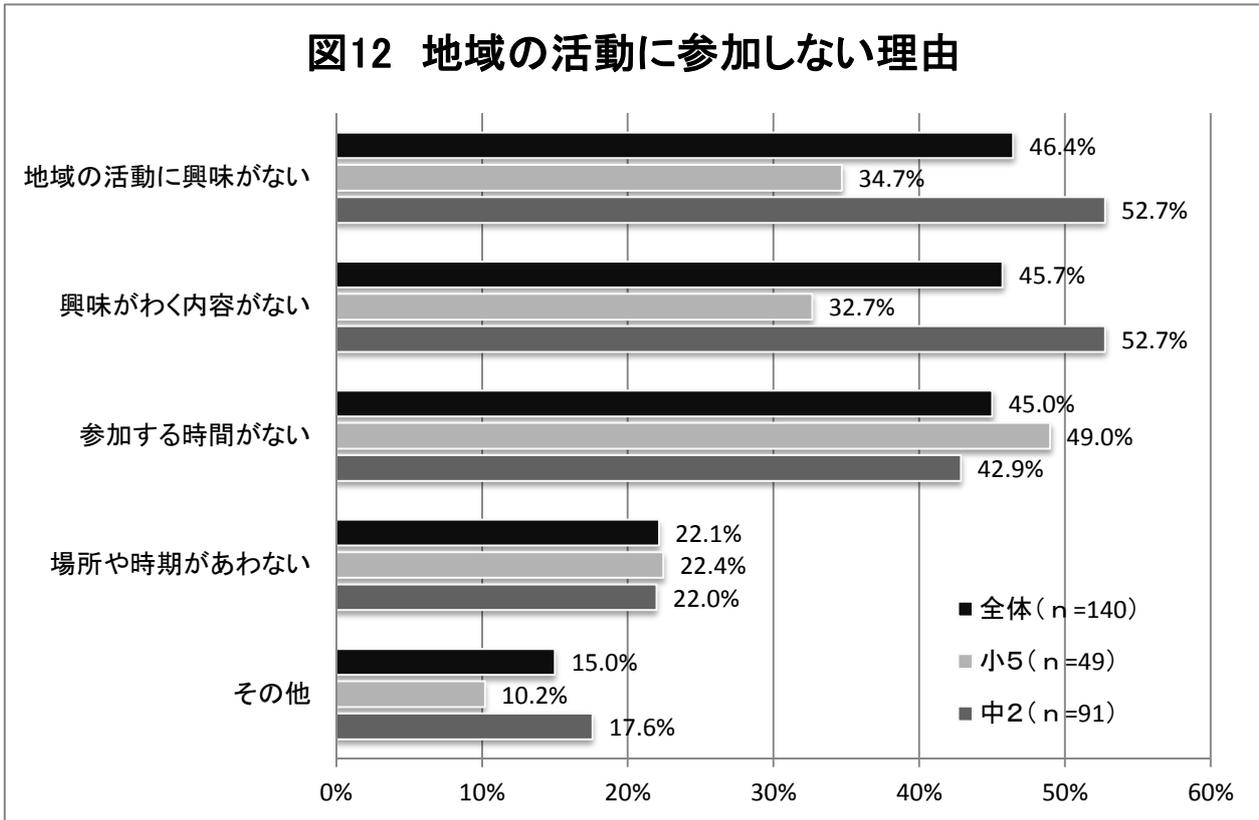


12 地域の活動に参加しない理由

問12 「問10」で「今もこれからも参加しない」と答えた人に聞きます。参加しないのはなぜですか。（該当全てに○）

地域の活動に参加しない理由では、全体で、「地域の活動に興味がない」(46.4%)が最も多く、次いで「興味がわく内容がない」(45.7%)、「参加する時間がない」(45.0%)となっている。小5では「参加する時間がない」(49.0%)が最も多くなっている。

図12 地域の活動に参加しない理由

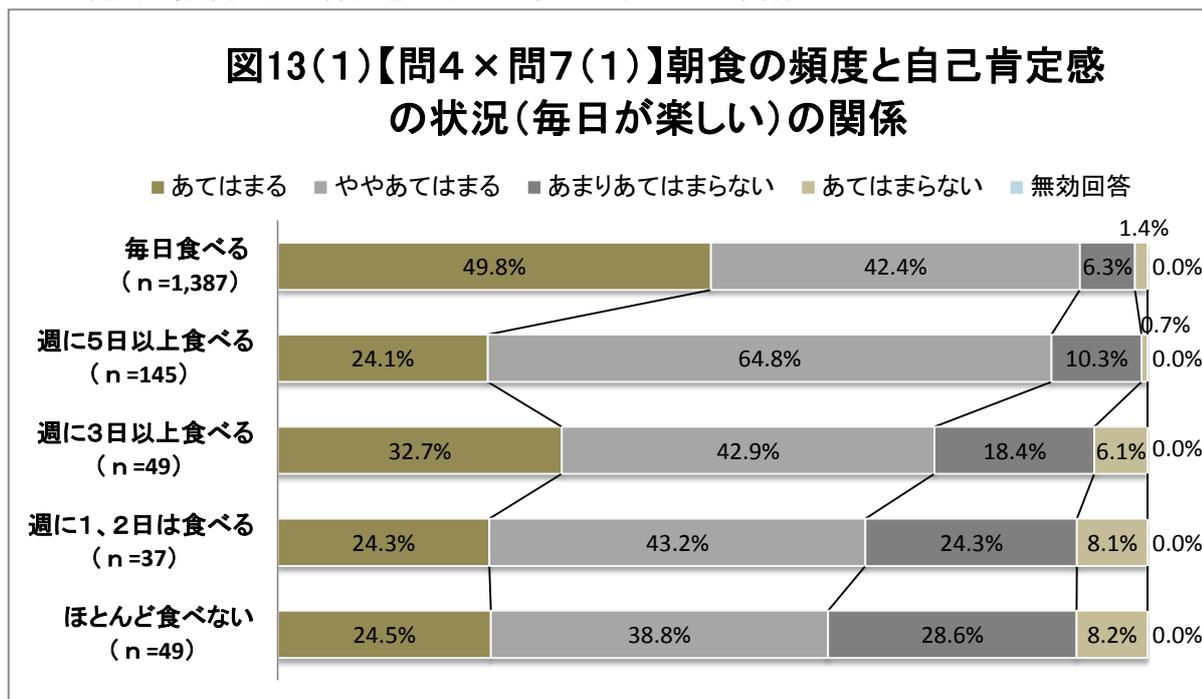


### 13 【問4】朝食の頻度と【問7】自己肯定感の状況の関係

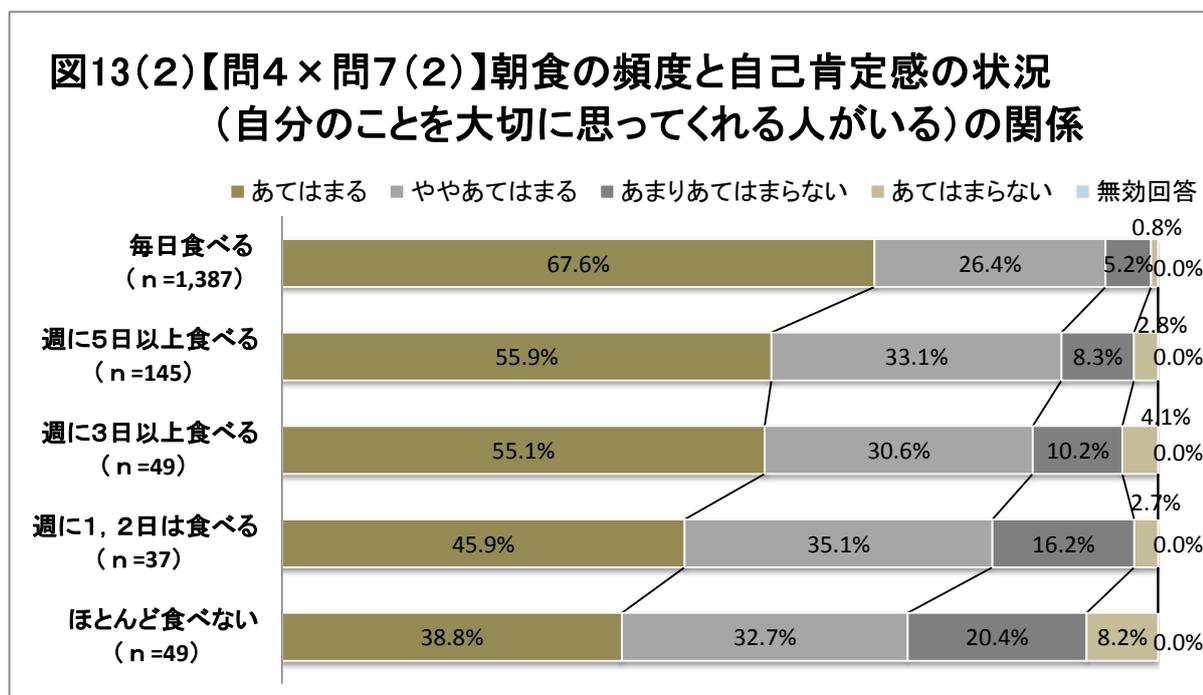
問10「朝食の頻度」と問7「自己肯定感の状況」との関係調べた。

朝食を「毎日食べる」児童生徒で、自己肯定感の「あてはまる」「ややあてはまる」の回答が多い傾向にあり、両者に関係性が認められる。

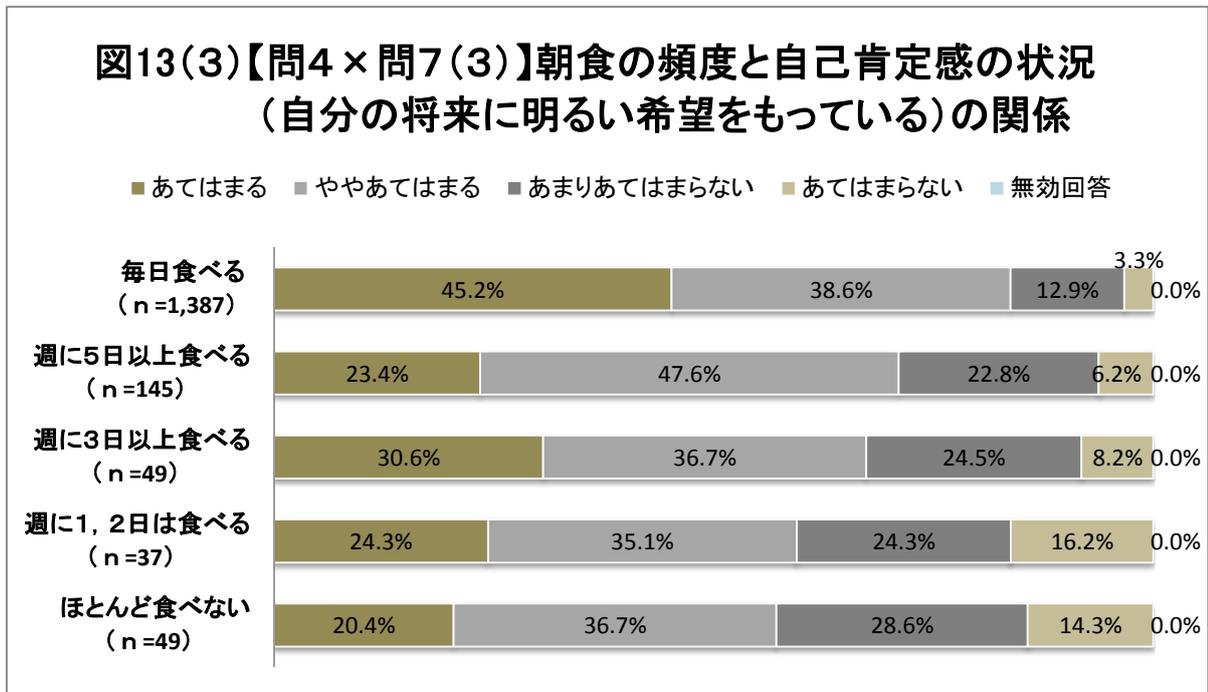
#### (1) 朝食の頻度と自己肯定感の状況(毎日が楽しい)の関係



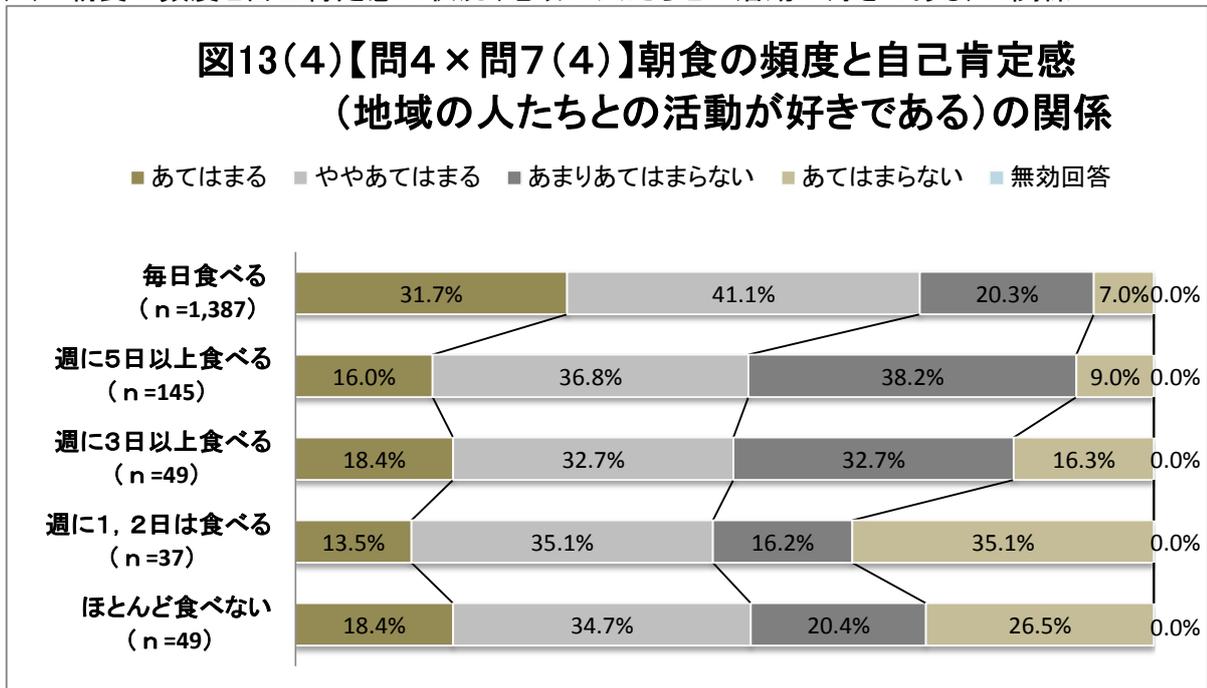
#### (2) 朝食の頻度と自己肯定感の状況(自分のことを大切に思ってくれる人がいる)の関係



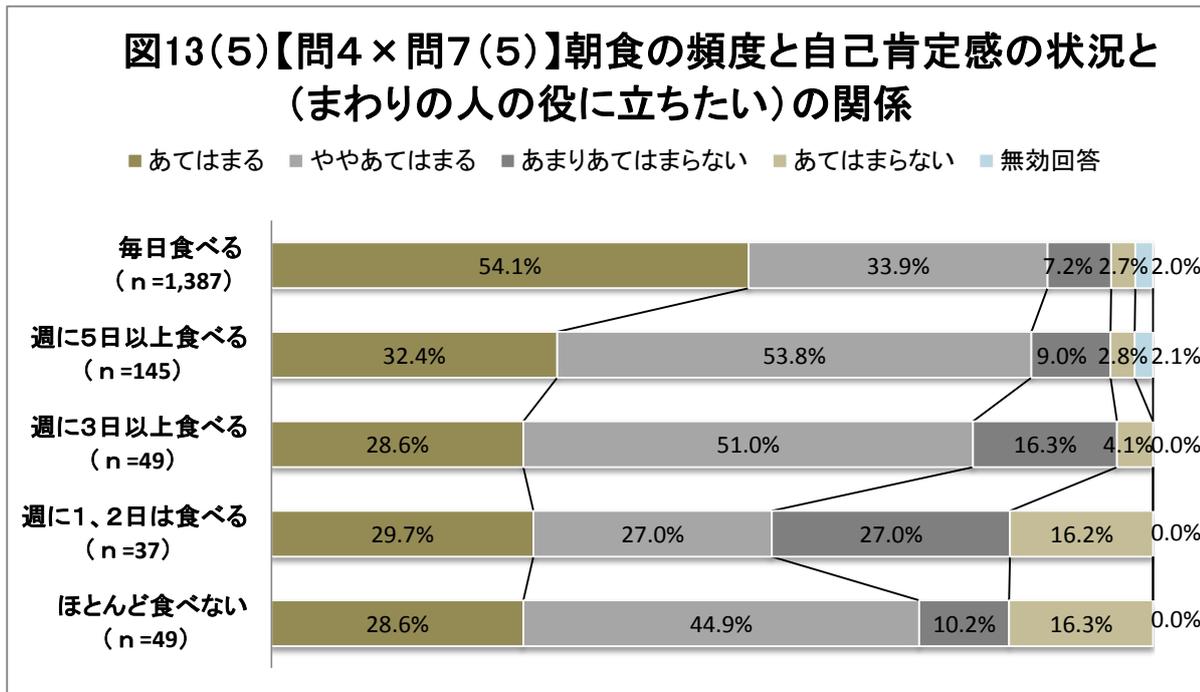
(3) 朝食の頻度と自己肯定感の状況(自分の将来に明るい希望をもっている)の関係



(4) 朝食の頻度と自己肯定感の状況(地域の人たちとの活動が好きである)の関係



(5) 朝食の頻度と自己肯定感の状況(まわりの人の役に立ちたい)の関係

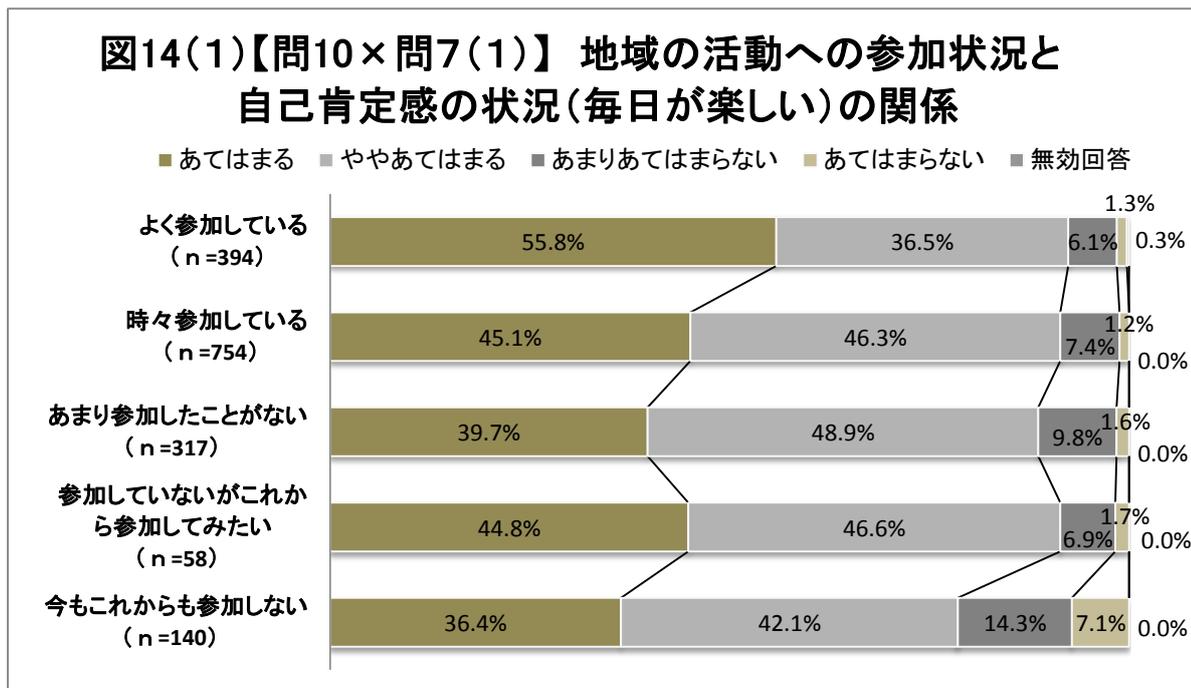


14 【問10】地域の活動への参加状況と【問7】自己肯定感の状況の関係

問10「地域の活動への参加状況」と問7「自己肯定感の状況」の各設問との関係を調べた。

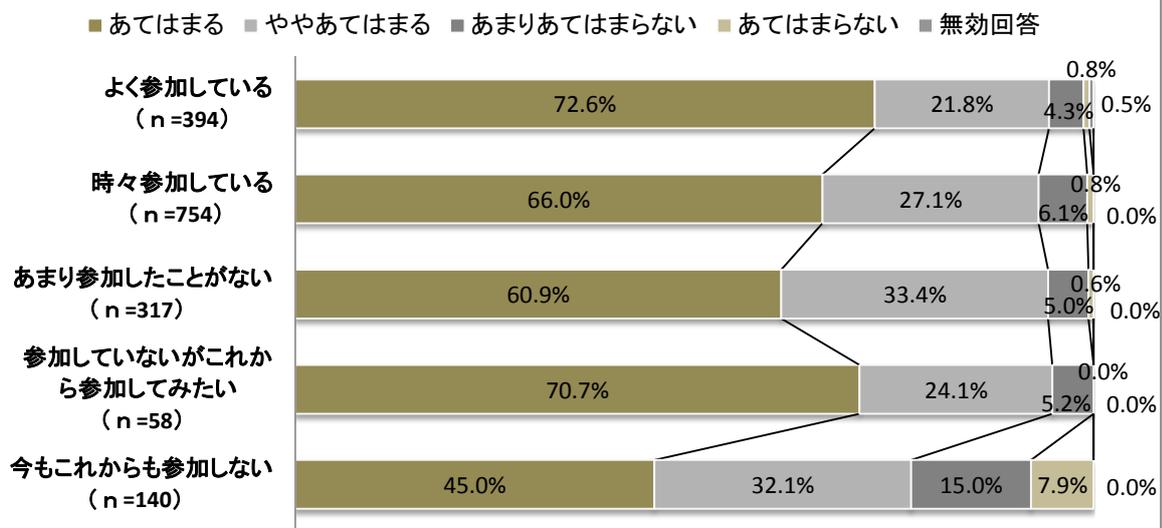
(1)から(5)のいずれも、地域の活動への参加の頻度が高いほど自己肯定感の「あてはまる」の回答が多い傾向にあり、両者に関係性が認められる。

(1) 地域の活動への参加状況と自己肯定感の状況(毎日が楽しい)の関係



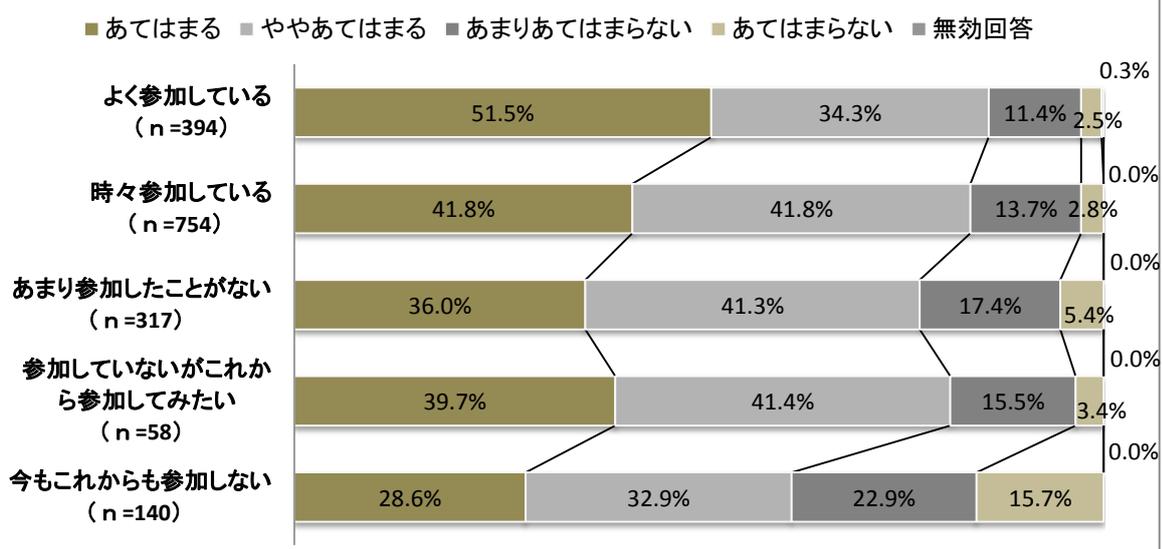
(2) 地域の活動への参加状況と自己肯定感の状況（自分のことを大切に思ってくれる人がいる）の関係

図14(2)【問10×問7(2)】 地域の活動への参加状況と自己肯定感の状況(自分のことを大切に思ってくれる人がいる)の関係

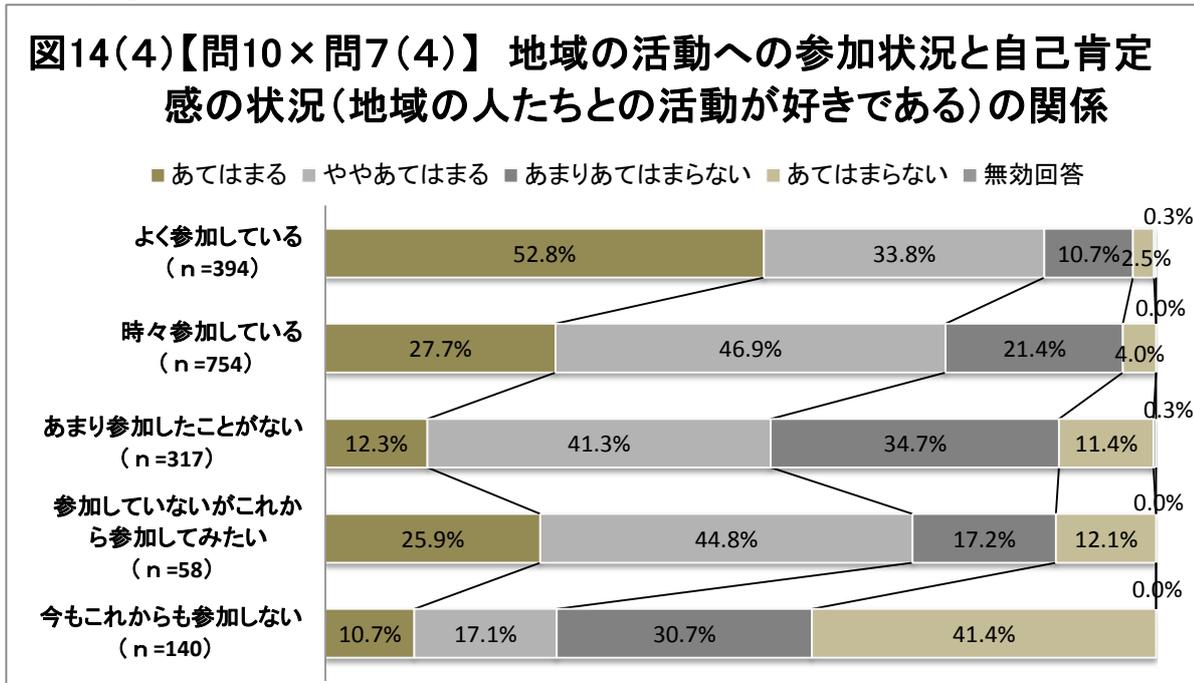


(3) 地域の活動への参加状況と自己肯定感の状況（自分の将来に明るい希望をもっている）の関係

図14(3)【問10×問7(3)】 地域の活動への参加状況と自己肯定感の状況(自分の将来に明るい希望をもっている)の関係



(4) 地域の活動への参加状況と自己肯定感の状況（地域の人たちとの活動が好きである）の関係



(5) 地域の活動への参加状況と自己肯定感の状況（まわりの人の役に立ちたい）の関係

